

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	15210	電話	042-769-8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉	課	
事務事業名	身体障害者スポーツ講座			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	63以前年度
施策名	第1施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

県費補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
身体障害者及び知的障害者を対象に、スポーツ・レクリエーションに接する機会を設けることにより、健康の維持、体力の増進等の促進を図る。		市内在住の身体障害者及び知的障害者	
		対象数	13,678人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
<身体障害者を対象にした講座> 卓球(全5回)・フライングディスク(全5回)・水泳(全4回)・軽スポーツ(全5回)・ゲートボール(全5回) <知的障害者を対象にした講座> フレッシュスポーツ(全5回)・わくわくスポーツ(全5回)			
7講座34回 延参加者数1,020人			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	相模原市障害者福祉計画	障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画(前期H10～14、中期H15～18、後期H19～22) スポーツ・レクリエーションの振興	
計画年次	10年度～22年度		

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	参加者数増減率(%)	本年度1回当たりの参加者数 / 前年度1回当たりの参加者数 × 100 H11:28.9人 H12:32.1人 H13:29.6人 H14:30人	講座参加者(1回当たり)の増減率から充実度をみる 年度により開催回数異なるため	111	92	101	101	101
	活動指標	参加者数 / 参加希望者数 × 100	各種講座の参加希望者に対する対応状況をみる	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数	20H	20H	20H	20H	20H
	人件費	84	84	84	84	84
	その他経費					
	合計	1,027	1,020	675	765	765
	特定財源	628	624	393	454	454
	対象数	12,589	13,124	13,678	14,422	15,206
	対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	毎年、講座参加者による新しいサークルができるなど、十分目標を達成している。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 生涯学習社会を作っていくうえで、障害者に対するスポーツ及びレクリエーションの振興も必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	各種講座を開催し、スポーツなどに接する機会を設けることは、障害者にスポーツ・レクリエーションを振興するうえで非常に有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 予算は最低限必要となる経費のみであり、また、物品のリユースなどに努めているため、費用対効果は適切である。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	誰もが受講できるよう対象者の設定等公平である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 3 障害者(身体・知的・精神)の参加に配慮した講座の企画・研究等	手段	参加者負担金の徴収の必要性について検討する。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
		神奈川県においても多くの講座を開催しているが、県内の市町村においても神奈川県から障害者の社会参加促進に係る補助金が交付されているため、様々な講座が実施されている。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	講座の参加者が集まり新しいサークルができるなどの成果をあげているが、より多くの参加者が得られるよう時代のニーズにあった内容に向けての検討とあわせ、参加者負担金の徴収についても検討する。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

参加者負担金については、健常者の状況を勘案しながら検討すること
